

## 兵庫県議会議員 神戸市北区選出

**向山好一**

向山好一

検索

●向山好一プロフィール ●昭和32年生まれ ●県立神戸高校～大阪大学経済学部卒業～大阪ガス社員 ●神戸市会議員2期～衆議院議員1期～兵庫県議会議員（現在2期目） ●北区保護司、北神戸軟式少年野球連盟顧問、障害者NPO法人顧問、ライオンズクラブ会長等を歴任 ●国民民主党兵庫県連代表



## なぜ兵庫県の公用車がセンチュリーなのか？ 向山好一の追及はマスコミでも大きく取り上げられる



9月23日～10月22日の日程で開催された兵庫県議会定例会で、向山好一は会派を代表しての代表質問、決算特別委員会での質問を繰り返し、コロナ対策の不備な点、兵庫県の公用車の問題等の税金の無駄使いの是正などについて強く迫りました。以下、その内容をご報告いたします。

10月7日 令和元年度決算特別委員会→



## 兵庫県の公用車車体価格は断トツ全国一!! 議長・知事車のは正求め厳しく追及!!

昨年8月、兵庫県の議長・知事の公用車がレクサスから最高級車のセンチュリーに変更になりました。車体価格はそれまでの2倍の約2,000万円!その費用は全て私たちが支払っている税金です。議長・知事は県民を代表する立場なのでそれなりの公用車でしかるべきですが、県民の皆様が納得できるものであるべきではないでしょうか。

向山好一は10月7日開催の兵庫県議会決算特別委員会で、車体価格が断トツ全国一になっていることを指摘し（下表参照）、是正を求めましたが、県当局は、「性能、居住性、安全性、環境面等を総合的に考慮した結果であり妥当な選定」との答弁に終始しました。

果たして、震災関連負債を多額に抱え、今なお行財政改革を実施している自治体の公用車として妥当なのでしょうか?兵庫県の財政は令和元年度決算でリーマンショック以来の3億円の実質収支赤字となりました。さらに、このコロナ禍で県民生活がより厳しくなり、本年度が1,000億円の税収減、来年度が2,000億円まで膨れ上がる見込みでまさに火の車状態です。

この追及はマスコミ等でも連日大きく取り上げられましたが、今なお県は「妥当」との姿勢を崩していません。

順位	都道府県	車体価格(注)	車種	形態
1位	兵庫県	約2,000万円	センチュリー	7年リース
2位	T o 県	約1,480万円	レクサス	購入
3位	T 県	約1,450万円	センチュリー	7年リース
4位	Y 県	約1,300万円	センチュリー	購入
5位	S 県	約1,260万円	レクサス	5年リース
37位	大阪府	約560万円	クラウン	5年リース
47位	F 県	約430万円	エルグランド	購入
全国平均		約830万円		

(注) 兵庫県管財課より入手した令和元年9月現在の資料から向山事務所が推計した金額

※令和元年9月以降の更新等により現在は上記内容から変更になった都道府県もあり得る

順位	都道府県	車体価格(注)	車種	形態
1位	兵庫県	約2,000万円	センチュリー	7年リース
2位	T o 県	約1,490万円	レクサス	購入
3位	T 県	約1,450万円	センチュリー	7年リース
4位	G 県	約1,360万円	ヴェルファイア	購入
5位	I 県	約1,340万円	レクサス	購入
37位	大阪府	約450万円	クラウン	5年リース
47位	H 県	約280万円	マツダCX-8	5年リース
全国平均		約710万円		

(注) 兵庫県管財課より入手した令和2年7月現在の資料から向山事務所が推計した金額

※令和2年7月以降の更新等により現在は上記内容から変更になった都道府県もあり得る



## 代表質問で今後のコロナ対策を具体的に提案しました

9月28日、向山好一は定例議会の代表質問で追加のコロナ対策としてインフルエンザとの同時感染拡大防止策や今後必要となる対策について具体的提案を行いました。

### 向山好一が提案した今後のコロナ対策

1 PCR検査、抗原検査の実施場所を200程度の診療所まで増やし、検査件数を飛躍的に拡大させる。  
⇒PCR検査の要件緩和と検査拠点の拡大を実現

2 インフルエンザとの同時感染を防ぐため、インフルワクチン数の確保と65歳以上高齢者への接種料の無償化を。  
⇒高齢者無償化は実現できず

3 来年4月に進学する公立・私立高校への入学金を収入が激変した世帯は免除したらどうか。  
⇒国に要望することを約束

4 これまでの反省と教訓を今後に活かすために全庁挙げて総合的な検証を行うべき。  
⇒10月末に中間検証結果を報告する

第351回9月定例会9月28日  
本会議代表質問

↓議会事務局提出資料

県議会・正副議長公用車の議会費経費負担額の推移		
年度	議会の経費負担額	公用車の車種
平成29年度	3,889,961円	正副議長ともレクサス
平成30年度	3,760,749円	正副議長ともレクサス
令和元年度	7,516,886円	議長センチュリー、副議長レクサス

## 号泣会見で地に落ちた県議会の信頼回復は、議会費の削減ではなかったのか？

この車種選定によって右表で示すとおり議長車・副議長車の議会事務費の経費負担が年間380万円から750万円へと倍増しました。兵庫県議会は、6年前の号泣議員による政務活動費の不正受給事件で世間を騒がせ、その信頼回復のために議会費の削減に取り組んでいる最中です。それでも車種選定は妥当と言えるのでしょうか。

## 議長車と知事車が同車種の原則はここまで…

長年の慣例として兵庫県では知事車と議長車は同時期に同車種で更新しています。その理由は同じ「長」の立場だからだそうです。対等ということを履き違えているとしか言いようがありません。この原則は公用車のメンテナンスにも適用され、下表で示すとおり「小石による簡単な損傷」に対し同じ日に同じ軽微な補修を行うという摩訶不思議な現象になっています。そのことが税金の無駄使いにつながっています。

「妥当」と判断している兵庫県の認識は世間と相当ズレているとしか言いたいかもしれません。

↓兵庫県管財課資料

議長車と知事車の維持管理明細	議	日付	内容	金額	備考
	長車	R1.11	タッチペイントで傷修理	1,430	小石の損傷
知事車	議	日付	内容	金額	備考
	長車	R1.11	タッチペイントで傷修理	1,430	小石の損傷

## 北神急行の市営化が実現!!

↓神戸市交通局提出資料

↓市営地下鉄谷上駅

今年6月、北神急行の神戸市営地下鉄への移管が実現し運行が始まりました。そのことにより谷上・三宮間の大1人運賃が以前の550円から280円へと約半額になりました。このことにより谷上から三宮方面への利用客は、昨年同期に比べ約3割増（コロナの影響を補正した数値）となり、市営化の効果が如実に表れています。この効果を企業誘致など北区全体の活性化につなげていく必要があります。

## 神戸の福祉施設職員にPCR検査を無料実施

インフルエンザ流行期に備え、神戸市は介護・障害者入居施設の職員を対象に11月下旬よりPCR検査を無料で実施することを決定しました。

お問い合わせ

神戸市総合コールセンター  
078-333-3330

谷上・三宮間の利用客の状況	期間	増加率
	6月	25.6%増
	7月	32.2%増
	8月	31.1%増
	9月	35.1%増
	4ヶ月の平均	31.1%増

# 県政改革は待ったなし!! みんなの税金は、もっと大切に使おう。

## 県民緑税の減額を何度も主張

「県民緑税」とは、「災害に強い森作り」と「街並み緑化」を目的として下表に示す税額で平成17年度に導入され、5年毎を事業期間とし、その都度延長され来年3月に第3期事業が終わります。表①

10月の定例県議会で向山好一は、コロナ禍により県民所得が明らかに減少していることに鑑み第4期（令和3年度～8年度）を実施するなら税額を半額の400円に減額すべきと再三訴えました。その理由は、昨年度に創設された「森林環境税」（税額徴収は令和6年度から）によって兵庫県は県民緑税の毎年約25億円の財源に加え約17億円の新たな森林整備財源を得ることになっているからです（表②）。つまり、これまでの15年間の事業で森林整備は大きく進み（総額280億円）全てが緊急性を要するものではないばかりか、受益と負担の関係でいえば神戸市民は負担ばかりを押し付けられることになるのです。

しかし、知事は現行通り800円での事業延長の方針を打ち出しました。



## なぜ森林整備だけが聖域として守られているのか？

「県民緑税」と「森林環境税」、名称と事業内容に若干の違いはあるものの森林整備のための目的税には変わりがなく、2つの事業を提携させることによる効率化や不急な事業の先送りなどで事業費の削減は間違いない可能です。このコロナ禍で県民の収入が減少している最中で住民税の超過課税が800円から1,800円に増税されることに大きな憤りを覚えます。

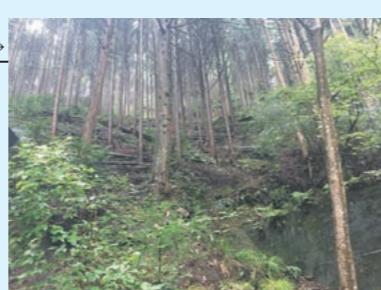
**目的税の肥大化**（注記参照）をなぜ兵庫県は是正しようとしたのか、今なお理解ができません。

←県民緑税減税を迫る向山好一（10月12日決算特別委員会）

## 目的税の肥大化とは

目的税とは、ある政策目標を達成するため時限的に課税する税金で、受益者負担が原則です。しかし、一旦導入されると目的がどんどん膨れ上がり、受益と負担が不明確になり終わりなき税になることがあります。つまり、目的達成のために税額はいくらかを判断するのではなく、安定的収入にあぐらをかき、逆に税額に合わせて事業を進めるという本末転倒のことが起こるのが目的税の問題点です。県民緑税がこの典型になっているのではとの懸念を持っており減額を主張しています。

森林環境税で伐し  
県民緑税で切った木を土留工した現場→



表① 県民緑税

県税への超過課税	
目的	主に災害対策などの森林整備と街並みの緑化事業
徴収額	●個人: 800円/年 ●法人: 2,000円 ～80,000円/年
税収額	年間: 約25億円

表② 森林環境税

住民税への超過課税	
目的	非経済林間伐を中心とした森林整備
徴収額	●個人: 1,000円/年 (課税は令和6年度から)
税収額	年間: 約17億円 (兵庫県の配分額)

## 但馬空港には根拠なく無駄な投資を続けている

但馬空港は、平成6年5月に高速交通空白地帯であった兵庫県北部の交通インフラの整備を目的とし、兵庫県が設置者となって滑走路1,200mで開港しました。現在、伊丹⇒但馬間を1日

2便のみが就航し、年間利用者数は約4万人（平均搭乗者数30名）。この利用者数は一般に供用されている全国86空港のうち77番目に位置し、下のランクは小さい離島空港しかありません。

この但馬空港への就航には全ての航空会社から採算の関係から背を向けられ、①就航する飛行機を県が購入する②就航赤字分は県が補てんする③空港会社に県から補助金を支給する④周辺自治体が運賃補助を行う、などの異例づくめの税金投入で空港維持を続けています。（表③）

### 税金の無駄使いを厳しく指摘

## どこに滑走路を延長する必要性があるのか？



表③ 但馬空港への税金投入額

但馬空港維持のために毎年県税だけで7億円程度使われている

①飛行機本体の購入・貸与	27億円で空港が購入し県が毎年1.4億円補助
②JACへの赤字補填	赤字補填として毎年就航会社へ2億円支給
③ターミナル会社への補助金	毎年4億円程度補助金支給
④周辺自治体の利用促進運賃補助	毎年9,000万円
⑤欠航の場合のタクシ代補助	代替交通機関のタクシ代補填
⑥空港建設費	約180億円（全て税金で建設し無償で空港会社が使用している）

表④：但馬空港に将来性がない理由

- ①県税を毎年7億円投入しても経済効果が1.5億円という 完全不採算空港
- ②冬場の就航率が約8割弱という欠陥空港
- ③北近畿豊岡道・山陰近畿自動車道が巨額の税金を投入し整備され高速交通空白地帯ではなくなっているだけでなく、表④に示すとおり将来性が全くない空港なのです。

※注記：兵庫県議会での井戸知事の答弁（2019.12）

ジェット機が就航可能な2,000m級に延ばし、羽田直行便やアジアへの国際便就航、格安航空会社（LCC）の誘致を目指す。有識者や地元代表者らでつくる懇話会を設置し、年末までに機能強化の内容を検討する。鳥取、米子、出雲空港は開港後10～20年の間隔で数回滑走路を延長している。25年を経過した但馬空港も機能強化に取り組みたい。

滑走路を延長すべきでない理由

- ①投資効果のない延長に数百億円の税金がかかる。
- ②近隣の鳥取空港就航状況やコロナ禍での航空会社の経営状態を考えると羽田便就航はあり得ない。
- ③但馬空港は陸路との競争力を完全に失っている

## 県議会で総額2116億円の補正予算を決定

兵庫県議会定例会で、コロナ対策を中心とした9月および10月の2度にわたる補正予算を議決・決定しました。主な内容は、9月補正では中小企業への運転資金の追加預託金として計上した1,575億円およびインフルエンザ流行を見据えた医療体制の拡充として10億円。10月補正ではコロナ重症患者受け入れ医療機関の病床確保料の引き上げ、緊急生活資金融資・中小企業感染防止対策経費補助の拡充などです。

内 容	金額(億)
コロナ感染対策	1,696
医療体制の拡充	26
地域経済の活性化	1,670
ボストコロナを見据えた基盤作り	203
安心・安全基盤作り	198
情報・交通基盤作り	8
合 計	1,900

内 容	金額(億)
コロナ重傷患者受け入れ機関への支援拡充	61
緊急小口資金貸付資金の確保	135
中小企業感染予防対策助成の拡充	20
合 計	216



ひょうご県民連合県政ニュース

兵庫県議会議員

神戸市北区選

# 向山好一

むこうやまとよし

県議会の傍聴ご案内

●本会議の傍聴には、一般傍聴券によるものと議員の紹介によるものがあります。  
●一般傍聴券は、本会議開会予定時刻の1時間前から議場棟1階の受付で先着順に交付しています。受付で住所・氏名をご記入の上、傍聴券の交付を受けてください。傍聴受付には、2号館南玄関からおこしください。